

「八幡市子ども会議」だより

発行：八幡市教育委員会 平成 30 年 1 月

「八幡市子ども会議」とは

「八幡市子ども会議」は、「八幡市の未来を担う子どもたちが、あらゆる人に対する思いやりや、いたわりの心、生きることの尊さについて考え、人々が生涯を通じて等しく、充実した生活ができる社会をめざして、自分の意見を表明し、子どもの立場から議論・提言をすること」を目的とし、平成 16 年度から継続し 14 年目を迎えた取組です。

本年度は、市内小・中学校と京都府立京都八幡高等学校の児童・生徒 31 名の委員が、昨年 6 月から本年 1 月まで、八幡市をよりよくすることを目指し、自分たちで決めたテーマについて、話し合いや施設の見学、さらには実習活動等の調査研究活動を行い、市長への提言にまとめてきました。また、活動を進めるに当たり、立命館大学政策科学部 稲葉光行教授に御指導いただくとともに、稲葉ゼミの大学生にも活動のサポートをしていただきました。

「平成 29 年度 八幡市子ども会議 ー市長への提言ー」

平成 29 年 12 月 23 日に松花堂美術館講習室にて、「八幡市子ども会議 ー市長への提言ー」を行いました。各班の主な提言内容を紹介しします。

小学生 A 班

「八幡市内の名所を巡るサイクリングコース」

八幡市の知名度を上げるために、八幡市内の名所を巡るサイクリングコースを考えました。また、市内の名所を紹介する絵を描き、その絵をポケットティッシュに入れ、サイクリングコースの地図と一緒に八幡市を訪れる人に渡して PR することを提言しました。



中学生 C 班

「八幡の名産物を使って作って PR」

八幡の名産物を新しく作って八幡を PR したいと考えました。そこで、八幡の特産物であるお茶と梨をあわせて、梨ティーや梨サンドイッチを作りました。それを八幡市内だけでなく他の地域にも発信して PR するために動画を活用することを提言しました。



小学生 B 班

「八幡ものがたり」～時代劇を題材にした PR 動画～

八幡市のことを多くの人たちに知ってもらえるように、八幡市にある名産品や名所を市外への広報活動に活用していくことを考えました。そこで、八幡市には歴史とつながりのあるものが多いことから、時代劇風の動画をつくって PR することを提言しました。



高校生 D 班

「みんなの力で八幡を発信！」

「インスタグラムで『#やわふおと』キャンペーン」を発展させ、インスタグラムにあげてもらった写真を使って、季節ごとの写真を見ることができると、地図や PR 動画、八幡市の LINE スタンプを作るなど、市民参加型の地域発信について提言しました。



講評 立命館大学政策科学部 教授 稲葉光行 先生

年を重ねるごとに、子ども会議の提言の内容や発表の方法が工夫されており感心しました。

学校では答えがある学習をしますが、子ども会議では、答えやその答えに行きつくまでの過程も決まっていない状態から、取組が始まります。子どもたちは、八幡市のことを知り自ら課題を見つけ、自分たちでテーマを考え、楽しみながら創造的なアイデアをまとめ提言していました。

本年度も、見学先での説明やインタビューなど、子どもたちのがんばりに対して、積極的にかつ無償で支援しようとする八幡市の大人のすごさを感じました。まさに市長さんが話されている市民協働であると思います。八幡市子ども会議は先進的な取組であり、今後も継続していくことを願っています。



「八幡市子ども会議」を終えて

今年度最後となる「子ども会議」を 1 月に開催し、活動の振り返りを行い、無事終了しました。

子ども会議委員からは、「今まで知らなかった八幡市の魅力を知ることができた」「活動を楽しみながら人と人とのつながりをつくることができた」などの感想が聞かれ、活動が充実していたことが分かりました。

来年度も「八幡市子ども会議」を開催する計画をしており、新たな視点からの提言に取り組みます。